

第19回JINSHA情報共有会：ワークショップについて

<テーマ> 研究の社会的インパクトとはどういうものか～事例から学ぶ

<目的>

日常業務では社会的インパクトをどのように評価するのかが話題になりがちですが、
そもそも**社会的インパクトとはどういうもので、研究が社会的インパクトを生み出す
とはどういうことなのか**をテーマとすることで、まず社会的インパクトを**社会の一員で
ある自分と関係のあるもの**として考えてみることからスタートしたいと考えます。
そのうえで、なぜ評価するのか、どのように評価するのか、可視化がなぜ必要かなど、
第1部とも接続しながら社会的インパクトに関する日ごろの疑問や試みなどを共有し、
多様な考えから学ぶことにより、各々の理解を深めることを目指します。

<プログラム>

日時 : 15時10分～17時10分 (120分)

場所 : 北海道大学 札幌キャンパス 創成科学研究棟 5F大会議室

開催形式 : 対面 (30人程度) ※企画メンバーがオンラインで参加予定です
1グループ4～6人 × 5～6グループ ※グループ分けは当日発表

タイムテーブル :

前説 5分

グループワーク 50分 (各自が事前準備について発表3分⇒グループディスカッション)

全体発表 (5分発表・3分質疑 × MAX 6 グループ) 50分

全体ディスカッション、登壇者からのコメント 15分

事前準備について

- 1) ワークショップでは、参加者がアカデミアにおける**研究が国内外で社会的インパクトを創出している（した）と思う事例**を持ち寄り、社会的インパクトとは何かについての議論を深めます。
- 2) 参加者には、指定の準備シート（別添パワポ様式、本資料6－9頁参照）に沿って、社会的インパクトについての事前準備をお願いします。提出いただいたものは、ワークショップ参加者限りで共有（※）します。この点をご確認の上、ご準備くださいますようお願いいたします。また当日共有される事例の取り扱いについても、あらかじめご確認ください。
（※）会場での紙媒体配布、ならびにデータ共有（閲覧のみ、ダウンロード不可）
- 3) グループワークではご準備いただいた事例を発表していただきます（**各自の発表時間は3分程度**）。
- 4) 完成した準備シートは**PDF化し前日10月8日午前10時までに**事務局にメールでお送りください（送付先：jinshaforum_hokudai@oeic.hokudai.ac.jp）。事務局で取りまとめます。
- 5) グループディスカッションでは、各事例の特徴について、なぜ評価するのか、どのように評価するのかを念頭に議論し、議論の内容を全体発表会で発表していただく流れとなります。
- 6) 不明点などは、メールにてお気軽にお問い合わせください。
（北海道大学統合URA本部・中野：nakano@oeic.hokudai.ac.jp）

準備シート作成に当たっての留意点

- 1) 事例は、ご所属の組織内のものでも他機関のものでも構いません。ご自身が、面白い、スゴイと思った事例を取り上げてください。
- 2) 研究が創出する社会的インパクトの事例を取り上げてください。研究プロジェクト等として研究以外の要素が含まれる場合は問題ありませんが、教育活動など研究以外が基となり創出される社会的インパクトは除きます。
- 3) 取り上げた社会的インパクトがどの領域で創出されたかは、REF2021などの領域の例示を参考にしてください。インパクトの種類 (Type) も多様です。どこかに当てはめることに捉われずに、ご自身の取り上げた事例がどういうものかを参加者に伝えるための参考としてください。
- 4) 事例について、以下のURLが参考になります。発表事例をここから選んでも構いません。

※イギリスREF2021 <https://results2021.ref.ac.uk/>

REF2021: 4Star impact case studies

<https://www.stephenkemp.co.uk/ref2021-4-star-impact-case-studies/>

オーストラリア ARC DATA Portal: Impact Studies

<https://dataportal.arc.gov.au/EI/Web/Impact/ImpactStudies>

日本学術会議報告「人文・社会科学の研究による社会的インパクト ～事例調査に基づく評価のあり方の検討～」

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-25-h230901-abstract.html>

* 本報告書に事例集があります (25-32頁) 一覧表が以下にありますので、こちらもご活用ください

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1h6XvETzdM3b5liPi03xegMGqbJLn5ANew8parO-UNSU/edit?pli=1&qid=1195779809#gid=1195779809>

- 5) 様式 (PPT) を用い、基礎情報を含めて全体を4枚以内でおさめてください (文字は12ポイント)。当日は2 アップ両面印刷で参加者に配布します。図なども用いても構いません。

- 6) 記入内容の「正解」はありません。むしろ皆さんの試行や模索、疑問点を積極的に発表していただき、研究の社会的インパクトの意味や意義、研究評価や評価結果の活用の意義や課題についての議論につなげたいと思います。

(参考) REF2021での審査区分

<https://2021.ref.ac.uk/panels/units-of-assessment/index.html>

The 34 units of assessment are grouped into 4 main panels:

- Main panel A: Medicine, health and life sciences
- Main panel B: Physical sciences, engineering and mathematics
- Main panel C: Social sciences
- Main panel D: Arts and humanities

1 - Clinical Medicine
2 - Public Health, Health Services and Primary Care
3 - Allied Health Professions, Dentistry, Nursing and Pharmacy
4 - Psychology, Psychiatry and Neuroscience
5 - Biological Sciences
6 - Agriculture, Food and Veterinary Sciences

A

医学保健・ライフサイエンス

7 - Earth Systems and Environmental Sciences
8 - Chemistry
9 - Physics
10 - Mathematical Sciences
11 - Computer Science and Informatics
12 - Engineering

B

物理学・工学・数学

13 - Architecture, Built Environment and Planning
14 - Geography and Environmental Studies
15 - Archaeology
16 - Economics and Econometrics
17 - Business and Management Studies
18 - Law
19 - Politics and International Studies
20 - Social Work and Social Policy
21 - Sociology
22 - Anthropology and Development Studies
23 - Education
24 - Sport and Exercise Sciences, Leisure and Tourism

C

社会科学

25 - Area Studies
26 - Modern Languages and Linguistics
27 - English Language and Literature
28 - History
29 - Classics
30 - Philosophy
31 - Theology and Religious Studies
32 - Art and Design: History, Practice and Theory
33 - Music, Drama, Dance, Performing Arts, Film and Screen Studies
34 - Communication, Cultural and Media Studies, Library and Information Management

D

芸術・人文学

(参考) REF2021での社会的インパクトの定義

https://2021.ref.ac.uk/media/1848/ref2021_key_facts.pdf

What is “Societal Impact”?

Impact “is defined as an effect on, change or benefit to the economy, society, culture, public policy or services, health, the environment or quality of life, beyond academia.”

インパクトとは「**学問の枠を超えて**、経済、社会、文化、公共政策やサービス、健康、環境、生活の質に対する影響、変化、利益と定義される」

Area of Impact REF 2021 Annex A of Panel criteria and working methods から

Impacts on the health and wellbeing of people, and animal welfare/Impacts on creativity,culture and society/
Impact on social welfare/Impacts on commerce and the economy/Impacts on public policy, law and services/
Impacts on production/Impacts on practitioners and delivery of professional services,enhanced performance
or ethical practice/Impacts on the Environment/Impacts on understanding,learning and participation

人々の健康と福祉、動物福祉へのインパクト、創造性・文化・社会へのインパクト、社会福祉へのインパクト、商業と経済へのインパクト、公共政策・法律・サービスへのインパクト、生産へのインパクト、実務家および専門サービスの提供・業績向上・倫理的実践へのインパクト、環境へのインパクト、理解・学習・参加へのインパクト

※インパクトの種類については、<https://2021.ref.ac.uk/publications-and-reports/panel-criteria-and-working-methods-201902/index.html> を参照

国立大学法人運営費交付金「ミッション実現戦略分」の評価における社会的インパクトの定義

(文部科学省事務連絡／2024年3月27日)

：社会的インパクトとは「国立大学が、我が国社会の公共財として、**学術的な価値だけでなく**、社会、経済、国民生活等の進歩に与えた影響」

(社会的インパクトを生み出す「主体」は国立大学で、研究だけでなく**教育や地域貢献**が基礎となるインパクトも対象)

インパクトの領域(例)：

国際社会への寄与／地域社会への寄与／政策形成への寄与／診療・福祉の改善への寄与／社会インフラの強化／新産業基盤の創出／地球環境・資源の保全への寄与／新しい文化創造への寄与／専門職の高度化への寄与

事例のタイトル

「

」

社会的インパクト創出のメインプレーヤー：※大学や研究所、研究プロジェクトチーム、個人研究者、等の名称（複数可）

研究分野：A-医学・ライフサイエンス、B-物理・工学・数学、C-社会科学、D-芸術・人文学（ ）

※A～Dのいずれかを○で囲み、カッコ内にREF2021の34分野から一番近い番号を記載してください。34分野については4頁を参照。

基となる研究が実施されていた時期： 年 月 ～ 年 月

社会的インパクトが発現された時期： 年 月 ～ 年 月

※時期の制限は設けません。

1. 取り上げた事例の社会的インパクトについて説明してください

※文字の大きさは12P

- ① インパクトの領域（Area）、種類（Type）、インパクトの規模（ローカル・ナショナル・グローバルなど）を意識して説明してください（「準備シート作成にあたっての留意点」（3頁）の3）を参照）
- ② データベースなどを参照した場合は元となる情報のURLも記載してください

準備シート②

氏名：

所属：

緑色の文字は提出時には削除し、行間を詰めて記載してください

(1. つづき)

※文字の大きさは12P

2. インパクトの基盤となっている研究について説明してください。

※文字の大きさは12P

(2. つづき)

※文字の大きさは1 2 P

3. 事例の面白さ、特徴的な点などをこの事例をとりあげた理由を含めてご説明ください。

※文字の大きさは1 2 P

(3. つづき)

※文字の大きさは12P

4. そのインパクトは根拠となる情報源（source＝根拠データ、指標など定量的なもの、根拠となる事実等が掲載されている報告書、記事など）に紐づけることができそうですか。できそうならどんなものがあるか可能な範囲で、難しい場合はその理由をご記入ください。

※文字の大きさは12P

全体を4枚以内でまとめてください

当日は2アップ両面で印刷します

各項目の分量など自由です（枠はあくまで例示です。適宜調整してください）

図表を使っていたいただいても構いません